

米国の果実輸出 リンゴが大幅に増加

[The Packer 2024年8月20日](#)

6月30日までの1年間の米国の果実・野菜輸出額は、多くの主要品目で増加した。2023年7月～2024年6月の期間に、リンゴ、ベリー類、オレンジ類の輸出額は増加し、ジャガイモとレタスは減少した。

米国農務省によると、2023年の豊作に支えられ、米国のこの1年間のリンゴ輸出額は34%増加して10億6千万ドルとなった。最も輸出額の多い青果物は、リンゴを筆頭に、ベリー類、オレンジ及びタンジェリン、ブドウ、レタスが続いた。以下は、主要品目の2023年7月～2024年6月の輸出額と対前年伸び率である。

- リンゴ - 10億6千万ドル、34%増 (翻訳では果実的野菜以外の野菜は省略しました。)
- ベリー類 - 8億3,740万ドル、14%増
- オレンジ及びタンジェリン - 6億3,070万ドル、7%増
- ブドウ - 6億120万ドル、5%減
- サクランボ - 5億1,170万ドル、19%増
- メロン - 1億9,120万ドル、6%増
- モモ - 1億6,120万ドル、21%増
- ナシ - 1億5,790万ドル、11%増
- レモン及びライム - 1億4,230万ドル、4%増

以下は、2023年7月～2024年6月の米国産生鮮果実の主要輸出市場別の輸出額と対前年伸び率である。

- カナダ - 17億3千万ドル、2%増
- メキシコ - 9億3,170万ドル、27%増
- 韓国 - 3億9,960万ドル、34%増
- 台湾 - 2億3,720万ドル、28%増
- 日本 - 2億2,510万ドル、11%増
- 香港 - 1億1,380万ドル、5%増
- ベトナム - 1億1,370万ドル、10%増 (以下、野菜の国別輸出額は省略しました。)

執筆者: トム・カースト

(関連記事) 米国 有機青果物輸出のトップはリンゴ

[The Packer 2024年8月22日](#)

リンゴが米国の有機農産物輸出のトップであることが、米国農務省の貿易データで明らかになった。2023年7月～2024年6月の1年間の米国の有機リンゴ輸出額は1億7,190万ドルで、1億1,610万ドルであった前年同期から48%増加した。米国農務省によると、このほかレタス、ナシ、ブドウ、イチゴが、この期間に輸出された有機青果物の上位5品目を占めている。以下は、2023年7月～2024年6月の主要有機青果物の輸出額及び前年同期からの変化率である。(翻訳では果実的野菜以外の野菜は省略しました。)

- リンゴ - 1億7,190万ドル、48%増
- ナシ - 4,590万ドル、28%増
- ブドウ - 4,210万ドル、15%減
- イチゴ - 3,940万ドル、6%減
- サクランボ - 3,630万ドル、39%増
- ブルーベリー - 2,090万ドル、1%増
- モモ/ネクタリン - 1,830万ドル、24%増
- ナツメヤシの実 - 1,390万ドル、249%増
- オレンジ - 1,120万ドル、56%増
- レモン - 1,100万ドル、2%増
- グレープフルーツ - 310万ドル、15%増
- スイカ - 150万ドル、41%減

執筆者: トム・カースト